

北 江 戸

発行責任者 南部 光春
編集責任 編集・記録班

第3号

第22回全国交流集会現地実行委員会ニュース

2017年2月24日(金)発行

「月刊まなぶの読者が増え」飛躍のスタートを切った三多摩県協! — 交流集会まで3ヶ月、力合わせて成功させよう! —



(三多摩県協2017旗開き風景↑)

全国のまなぶの仲間のみなさん!お元気で“すか?立春も過ぎ季節は冬から春へと移っていきます。各県協・地区協の新春旗開きも終わり、目標を設定し第22回全国交流集会の取り組みを本格化させていることと思います。開催日まで3ヵ月となりました。「交流集会」の成功に向けて力を合わせていきましょう。

今回の「ニュース第3号」は、東京ブロック各県協の「交流集会」の取り組み状況について掲載します。報告の筆頭は、2017年新春旗開きに、国労OB、JP労組、全労協全国一般に所属する3名の新しい仲間が参加し、『月刊まなぶ』の1部拡大を果たした三多摩県協です。二番手は中部県協、三番手は西部協、四番手は北部協です。しんがりは、南部県協です。

「自分の集会」めざす

三多摩県協議会

私達は、「1月21日」に第38回県協総会を開催しました。

この総会の中で今年の5月に開催される第22回全国交流会に向けて今年の目標について議論しました。

昨年の集会では、会員全員の参加を目標に取り組んで全員の参加と文化交流の寸劇に参加し「自分の集会」として成果を勝ち取ることができました。

今年は、全員の参加とともに家族を含めてプラスアルファの参加者を目指し一人ひとりが努力することを確認しました。また、開催ブロックの一員として集会成功に向けて、今年も「自分の集会」として頑張ることを全体で確認しました。

「現地実行委員会からのお知らせ」

箱根高原ホテルは、芦ノ湖を見下ろす風光明媚な場所に位置していますが、ホテルの周囲は商店街などは有りません。ホテル内に売店がありますがお土産物を中心で。集会開会前の昼食は、事前に済ませるか、お弁当を持参して下さい。



(真剣な討論をする現地実行委員会の仲間達↑)

「国労友の会と一緒に!」

中部県協議会

中部県協では、全国交流集会に会員全員参加を目標に望んできました。参加できない理由を出し合い、年老いた親・子ども・参加費等、一人ひとりの考えや思いを出し理解し合う中で、かなえ友の会は全員参加が続いています。国労東京友の会地区友の会と討論を通して、近場の参加には一緒にと一致してきました。どうして行けないか、どうやったら参加できるか、どうしたいかの納得づくの討論を重ねていった上での全員参加づくりです。

全国交流集会に参加するにあたり、毎年結団式で何を交流したいか一人ひとりが出し合っています。そのことで、有意義な分散会になったと感想が出されています。その事は、一年間を通して、ブロックチューター講座や女性講座へも繋がっています。今年10数年ぶりに、まなぶ講演会を開催しました。三池闘争の会社側・組合側のDVDを鑑賞し交流して、国労闘争や組合員への分断攻撃に対して更に怒りをもったこと、会員以外の仲間から感想がだされました。資本の分断攻撃は続いています。そういう取り組みも全国交流集会で交流し、6ブロック統一に向けて進んでいけたらと思います。

「昨年以上の参加者を！」

西部県協議会

第21回全国交流集会（徳島）には「後泊」も含め西部協から6名の仲間が参加しました。

西部協の会議の中で全国交流の取り組みについては議論され、参加費についても負担軽減のため毎月「積立」をしながら参加態勢を作っています。

今回は東京開催という事で「参加者の獲得」に向け、各学習会での討論を中心に、また西部協の会議の中でも具体的な取り組みについて討論しているところです。

昨年以上の参加者を獲得するためには何が必要か？参加者への呼びかけをどうしていくのか？目標を設定しながら運動をどう積み上げられるかが課題であると思います。

これは、全国交流集会に限ったことでなく他の諸活動についても言える事だと思えます。

西部協は、具体的な目標を持ち、努力しながら「第22回全国交流集会」の成功に向け取り組みを進めていきたいと考えています。

まず、自身が主体的に関わり、会員への参加呼びかけをしていきたいと思えます。



(12. 10北部県協総会風景↑)

「20人の目標を掲げて」

北部県協議会

担当となった東京ブロックは、100人の参加を勝ち取ろうとブロック全体で取り組んでいます。その方針を北部協にあてはめると20人の目標になります。会員20名ですが全員参加できるわけではありません。北部協の実績は15人前後なので、あと5人をいかに増やすかが課題です。党やユニオン、各種学習会のリストアップをつくり、箱根開催という参加しやすい条件を最大限利用しながら、あたっているところです。



(1. 22南部県協新春旗開き風景↑)

9から14以上に向けて

南部県協議会

南部協議会は、2月15日に開催した四役会議で第22回全国交流集会の各友の会の取り組み状況をつき合せました。4友の会で9人の全日程参加を確認できました。あと5人の仲間の参加条件をどう作り出していくかが課題として残りました。健康状態、家庭の状況によって「日帰りなら参加できるが」「体調不良で療養中、全国交流集会を目標に治療を続けている」という仲間の参加条件を県協全体で作っていかうと意志統一しました。14人以上の参加が目標です。

「今後の現地実行委員会日程」

- 第4回実行委員会 3月26日13時～
- 第5回実行委員会 5月14日13時～
- 「第22回全国交流集会開催要項」
- 5月20日13時～21日12時
- 箱根高原ホテル
- ☎040-84-8595
- 参加費 16,000円
- 主催 「全協」再建をめざす労働大学まなぶ友の会県協連絡会議
- 現地実行委員会 東京県協連絡会議
- ☎03-3870-5570

